

397年ぶりに超接近する 木星・土星を見よう



天空が広がるうぶやまの高原には、初冬の冷たい北風が吹いています。今年の冬はラニーニャ現象で雪が多く、厳寒が予想されていますが、産山では空気が乾燥して素晴らしい星空が広がっています。

12月21日、22日の2日間、太陽が沈んで1時間ほどした西の低空に397年ぶりに視距離0.1度以下に超接近する木星と土星が観察されます。世紀の超接近です。普通、惑星の接近といわれるのは1度くらいですが、今回の接近は超がつく0.1度以下の接近です。肉眼では2つの惑星は重なって見えます。

木星は12年、土星は30年周期で太陽の周りを公転しています。そのため20年に1回ほどの割合で接近が起きるのですが、このような視距離0.1度以下の超接近は、前回は1623年の江戸時代初期なので実に397ぶりになります。0.1度以下の接近なので双眼鏡や低倍率の望遠鏡では、同位置視野の中に環のある土星とガリレオ衛星や、縞模様のある木星が見える大変珍しい光景が観察できます。次回の接近は通常接近が20年後、超接近はそれから40年後の2080年となります。この機会にぜひ観察してみたいはいかがでしょうか。

期 日	: 令和2年12月21日(月)、22日(火) 両日実施
時 間	: 午後5時30分~6時30分
場 所	: うぶやま天文台(熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内)
観察対象	: 木星・土星の超接近
料 金	: 村内の方……無 料 村外の方……高校生以上 300円 小中学生 200円 未就学児 無 料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

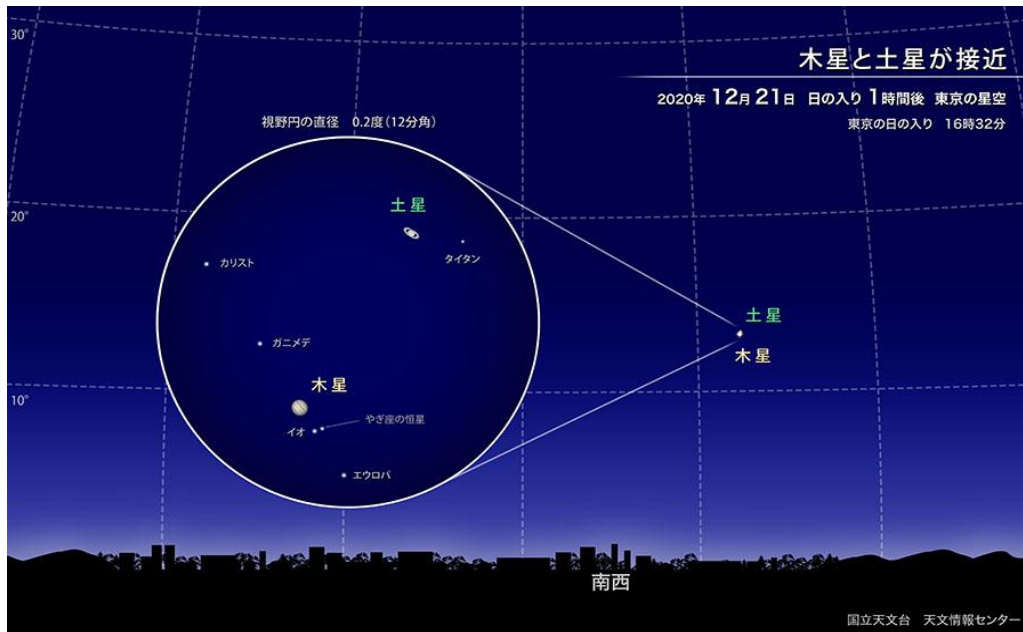
天候不良等で実施できない場合は、延期日、もしくは中止について当日午後5時までにお知らせ端末にて連絡します。

上記につきましては産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

【ご来館予定の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。
- マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。



12月17日（木）夕刻、西の低空で細い月と木星・土星が接近

12月17日（木）、太陽が沈んで1時間程経った18時頃、西の低空に細い4日月と木星・土星が接近している大変珍しい光景が見られます。天文台イベントとしては開催しませんが、珍しい現象であるため、通常木曜日は休館ですがこの日は特別開館します。



【天文台開館日】

毎週 月・水・金・土曜日（祝祭日除く）

※ただし、星空観察会については毎月の新月の日、その他の天文台イベントについては、天文現象等に合わせて開催しますので、規定の開館日以外の開催となる場合があります。

【開館時間帯】

午後6時00分～午後10時00分（12月）

※天文現象等に合わせた天文台イベントの場合、この限りではありません。

【予約申込み・問い合わせ先】

産山村教育委員会（TEL：0967-25-2214）

受付時間帯：平日午前8時30分～午後5時15分